平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年4月13日

上場会社名　ファーマライズホールディングス株式会社　　上場取引所　JQ
コード番号　2796　　URL　http://www.pharmarise.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）大野　利美知
問合せ先責任者（役職名）常務取締役　（氏名）村上　典夫　TEL 03-3362-7130
四半期報告書提出予定日　平成22年4月14日
配当支払開始予定日　—

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績（平成21年6月1日～平成22年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	16,899	14.6	589	65.1	441	69.7	193	55.4
21年5月期第3四半期	14,742	—	357	—	260	—	124	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	9,049.31	—
21年5月期第3四半期	17,430.65	—

(注)平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期第3四半期の1株当たり四半期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	12,935	1,965	14.3	86,509.86
21年5月期	10,335	1,720	16.4	237,948.33

（参考）自己資本　22年5月期第3四半期　1,851百万円　21年5月期　1,697百万円

(注)平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期第3四半期の1株当たり純資産は、当該株式分割を考慮しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0.00	—	6,000.00	6,000.00
22年5月期	—	0.00	—		
22年5月期（予想）				2,000.00	2,000.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期（予想）の期末は当該株式分割を考慮しております。

3. 平成22年5月期の連結業績予想（平成21年6月1日～平成22年5月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,052	15.2	692	28.2	535	31.2	223	0.6	10,458.04

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。通期の1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 有

新規 1社 （社名 株式会社三和調剤 ） 除外 ―社 （社名 ）

（注）詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年5月期第3四半期	21,465株	21年5月期	7,155株
② 期末自己株式数	22年5月期第3四半期	63株	21年5月期	21株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年5月期第3四半期	21,402株	21年5月期第3四半期	7,148株

（注）平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成21年６月１日～平成22年２月28日）の我が国の経済は、エコポイント等の消費刺激政策と金融緩和政策、さらには新興国の需要回復等の効果により比較的堅調に推移してまいりました。しかしながら、今後の見通しにつきましては、先進国で突出した財政赤字や政治資金に係る政局の問題、さらにはこれまで得意としていた産業分野におきまして他国企業に国際シェアを奪われつつある問題等で、不透明な状況が続いております。

当社グループが属する調剤薬局業界におきましても、医薬品小売業やドラッグストア等の周辺業種に大手流通や大手商社等も加えて、外部環境に適応するための提携や再編がさらに活性化しております。その背景には、昨年６月１日より改正薬事法が施行されたことがあります。改正薬事法ではＯＴＣ医薬品（一般用医薬品、大衆薬）の３分類化と登録販売者制度が設置され、医薬品の販売方法や販売資格が明確化（簡素化）されました。これにより、数少ない成長市場と目されている調剤薬局業界でも競争激化が予想され、当社グループではスピード感をもった経営判断を行い、患者にとって付加価値の高い新たな地域医療や調剤薬局の体制開発を重要課題として認識しております。

また、当社は当連結会計年度より持株会社体制に移行し、グループ力の強化と拡大を重要命題と位置付け、Ｍ＆Ａに積極的に取り組んでおります。さらに、グループ会社内の組織変更や人事異動を積極的に行い、グループ全体の機能強化と活性化を促しております。

当社グループの当第３四半期連結累計期間における業績は堅調に推移し、売上高は16,899百万円（前年同期比14.6％増）、営業利益は589百万円（同65.1％増）、経常利益は441百万円（同69.7％増）、四半期純利益は193百万円（同55.4％増）となり、ほぼ計画通りの水準で推移しております。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

（調剤薬局事業）

当第３四半期連結会計期間末において当社グループが運営する調剤薬局店舗数は、期初から30店舗増加して156店舗（直営154店舗、ＦＣ２店舗）となりました。これまでの新規出店は３店舗にとどまりますが（閉鎖１店舗）、調剤薬局事業に関する事業提携やＭ＆Ａを活発に行ってまいりました。昨年９月に連結子会社化した株式会社三和調剤（持分割合51.2％、本社：東京都武蔵野市、３店舗）と株式会社ハイレンメディカル（持分割合100％、本社：北海道伊達市、22店舗）が当第３四半期連結会計期間から当社の連結業績に寄与しております。また、本年１月に連結子会社化（持分割合100％）した有限会社北町薬局（本社：東京都練馬区、３店舗）は、第４四半期連結会計期間から連結業績に寄与してまいります。

薬局運営面につきましては、平成22年４月から実施される薬価改定と調剤報酬改定に向けた対策を推進しております。特に後発医薬品につきまして、従来の方針である「安全と効果の検証」を踏まえた上で積極的な対応を加速しております。

これらの結果、売上高は16,706百万円（前年同期比15.0％増）、営業利益は780百万円（前年同期比96.2％増）となりました。

（その他事業）

その他事業の内容は、当社が運営する処方データの販売と完全子会社である株式会社ふじい薬局が運営する調剤薬局以外の店舗における化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸販売であります。その他事業における当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高は193百万円（前年同期比8.7％減）、営業損失は43百万円となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産の残高は12,935百万円となり、前連結会計年度末残高10,335百万円に対し、2,600百万円増加しました。この主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得により、流動資産1,076百万円、有形固定資産333百万円、無形固定資産1,448百万円、投資その他の資産359百万円それぞれ増加したこと、また調剤報酬債権流動化の契約内容の変更等に伴い、売掛金が906百万円となり前連結会計年度末残高1,165百万円に対し259百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債の残高は10,969百万円となり、前連結会計年度末残高8,615百万円に対し2,354百万円増加しました。この主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得により、流動負債1,080百万円、固定負債244百万円それぞれ増加したこと、短期借入金が260百万円、長期借入金（1年内含む）が532百万円（内、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による増加額が373百万円）、社債（1年内含む）が300百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,965百万円となり、前連結会計年度末残高1,720百万円に対し245百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が150百万円増加し、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得等により、少数株主持分が91百万円増加したことによるものであります。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成22年１月５日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました内容に変更はございません。

なお、通期業績予想では第４四半期連結会計期間より有限会社北町薬局（平成21年12月３日付「有限会社北町薬局の株式取得（子会社化）に関するお知らせご参照」）が連結子会社として連結業績に寄与することと、平成22年５月に計画している本社移転（平成22年１月５日「本社移転に関するお知らせ」ご参照）に係る費用等を加味しております。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

持分法適用関連会社であった㈱三和調剤との業務提携をさらに強固にするために株式を追加取得し、連結子会社となったと同時に連結の範囲の変更を伴う特定子会社となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年２月28日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,728,065	2,152,044
売掛金	906,023	1,165,463
商品	943,598	693,035
未収入金	987,264	891,108
その他	302,269	196,402
貸倒引当金	△8,828	△6,747
流動資産合計	5,858,393	5,091,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,856,584	1,663,818
土地	1,573,241	1,468,770
その他（純額）	211,625	202,324
有形固定資産合計	3,641,451	3,334,913
無形固定資産		
のれん	1,854,558	501,964
ソフトウエア	264,236	337,104
その他	36,140	24,984
無形固定資産合計	2,154,934	864,054
投資その他の資産		
差入保証金	692,098	584,761
その他	597,524	470,939
貸倒引当金	△13,382	△11,883
投資その他の資産合計	1,276,240	1,043,817
固定資産合計	7,072,626	5,242,785
繰延資産		
株式交付費	－	1,490
社債発行費	4,576	－
繰延資産合計	4,576	1,490
資産合計	12,935,596	10,335,584

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年２月28日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年５月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,637,422	3,433,087
短期借入金	560,000	300,000
1年内償還予定の社債	40,000	―
1年内返済予定の長期借入金	1,679,904	1,539,308
未払法人税等	155,115	118,517
賞与引当金	103,782	―
その他	320,351	457,715
流動負債合計	7,496,576	5,848,629
固定負債		
社債	260,000	―
長期借入金	2,975,684	2,583,668
退職給付引当金	146,769	125,964
その他	90,751	57,120
固定負債合計	3,473,204	2,766,752
負債合計	10,969,780	8,615,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,075	580,075
資本剰余金	527,376	527,376
利益剰余金	736,173	585,304
自己株式	△2,430	△2,430
株主資本合計	1,841,194	1,690,325
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,289	7,198
評価・換算差額等合計	10,289	7,198
少数株主持分	114,331	22,679
純資産合計	1,965,815	1,720,202
負債純資産合計	12,935,596	10,335,584

(2)【四半期連結損益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年６月１日 至　平成21年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年６月１日 至　平成22年２月28日）
売上高	14,742,725	16,899,557
売上原価	12,945,959	14,721,140
売上総利益	1,796,766	2,178,417
販売費及び一般管理費	1,439,748	1,588,922
営業利益	357,017	589,494
営業外収益		
受取利息	5,989	5,387
受取配当金	547	539
受取賃貸料	5,083	9,431
その他	3,255	2,765
営業外収益合計	14,876	18,124
営業外費用		
支払利息	63,724	70,728
持分法による投資損失	－	4,069
支払手数料	－	39,690
休止固定資産費用	25,537	36,069
その他	22,445	15,584
営業外費用合計	111,707	166,141
経常利益	260,186	441,477
特別利益		
固定資産売却益	3,378	－
貸倒引当金戻入額	20,587	853
退職給付制度改定益	15,938	－
特別利益合計	39,904	853
特別損失		
固定資産除却損	113	145
賃貸借契約解約損	4,617	－
減損損失	－	23,151
特別損失合計	4,730	23,297
税金等調整前四半期純利益	295,360	419,033
法人税等	169,179	222,166
少数株主利益	1,587	3,193
四半期純利益	124,594	193,673

【第３四半期連結会計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成20年12月１日 至　平成21年２月28日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成21年12月１日 至　平成22年２月28日）
売上高	5,059,180	6,274,441
売上原価	4,358,938	5,457,236
売上総利益	700,241	817,205
販売費及び一般管理費	495,345	592,121
営業利益	204,895	225,083
営業外収益		
受取利息	2,076	2,303
受取配当金	192	187
受取賃貸料	1,971	3,804
その他	891	730
営業外収益合計	5,132	7,025
営業外費用		
支払利息	20,773	26,491
休止固定資産費用	12,673	11,875
その他	7,884	9,469
営業外費用合計	41,331	47,837
経常利益	168,696	184,272
特別利益		
固定資産売却益	3,378	－
貸倒引当金戻入額	△304	△113
退職給付制度改定益	15,938	－
特別利益合計	19,012	△113
特別損失		
固定資産除却損	113	145
賃貸借契約解約損	1,760	－
特別損失合計	1,873	145
税金等調整前四半期純利益	185,835	184,013
法人税等	105,432	97,203
少数株主利益	796	1,957
四半期純利益	79,606	84,852

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年６月１日 至　平成21年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年６月１日 至　平成22年２月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	295,360	419,033
減価償却費	201,380	226,936
減損損失	－	23,151
のれん償却額	88,780	94,310
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△16,065	△1,862
賞与引当金の増減額（△は減少）	89,097	103,782
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△5,317	9,991
受取利息及び受取配当金	△6,536	△5,927
支払利息	63,724	70,728
固定資産除却損	113	145
固定資産売却損益（△は益）	△3,378	－
持分法による投資損益（△は益）	－	4,069
売上債権の増減額（△は増加）	△107,004	641,514
たな卸資産の増減額（△は増加）	△183,389	△104,561
仕入債務の増減額（△は減少）	954,847	371,468
その他	△171,527	△202,685
小計	1,200,085	1,650,096
利息及び配当金の受取額	4,014	2,534
利息の支払額	△61,386	△66,503
法人税等の支払額	△172,108	△223,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	970,604	1,362,787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,250	△4,750
定期預金の払戻による収入	15,300	3,400
有形固定資産の取得による支出	△555,413	△104,603
有形固定資産の売却による収入	11,378	－
無形固定資産の取得による支出	△27,212	△10,594
投資有価証券の取得による支出	△8,000	－
差入保証金の差入による支出	△10,428	△34,256
差入保証金の回収による収入	71,426	15,126
貸付けによる支出	－	△146,000
貸付金の回収による収入	－	122,095
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△1,370,303
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	89,307
営業譲受による支出	△86,837	－
その他	△1,995	△22,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△596,032	△1,463,046

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年６月１日 至　平成21年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年６月１日 至　平成22年２月28日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△700,000	260,000
長期借入れによる収入	1,900,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,097,548	△1,240,859
リース債務の返済による支出	△11,541	△13,763
社債の発行による収入	－	295,373
社債の償還による支出	△60,000	－
自己株式の取得による支出	△2,430	－
配当金の支払額	△42,930	△42,804
少数株主への配当金の支払額	△350	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,800	657,595
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	359,772	557,337
現金及び現金同等物の期首残高	1,443,062	1,921,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,802,834	2,478,564

(4)　継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成21年６月１日　至　平成22年２月28日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成20年６月１日　至　平成21年２月28日）

	調剤薬局事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	消去又は全社(千円)	連結（千円）
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	14,530,760	211,964	14,742,725	－	14,742,725
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	14,530,760	211,964	14,742,725	－	14,742,725
営業利益又は営業損失(△)	397,698	△40,680	357,017	－	357,017

（注）１　事業の区分の方法
事業は市場の類似性に基づき区分しております。
２　調剤薬局事業・・・・調剤薬局の経営
その他事業・・・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング
３　前連結会計年度まで区分掲記しておりました「処方データビジネス事業」は、重要性がなくなったため、第１四半期連結会計期間より「その他事業」に含めることといたしました。
なお、当第３四半期連結累計期間における処方データビジネス事業の売上高は13,000千円、営業損失は20,326千円であります。

当第３四半期連結累計期間（自　平成21年６月１日　至　平成22年２月28日）

	調剤薬局事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	消去又は全社(千円)	連結（千円）
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	16,706,026	193,530	16,899,557	－	16,899,557
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	16,706,026	193,530	16,899,557	－	16,899,557
営業利益又は営業損失(△)	780,168	△43,011	737,156	(147,661)	589,494

（注）１　事業の区分の方法
事業は市場の類似性に基づき区分しております。
２　調剤薬局事業・・・・調剤薬局の経営
その他事業・・・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成20年６月１日　至　平成21年２月28日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

当第３四半期連結累計期間（自　平成21年６月１日　至　平成22年２月28日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

【海外売上高】

前第３四半期連結累計期間（自　平成20年６月１日　至　平成21年２月28日）において海外売上高はありません。

当第３四半期連結累計期間（自　平成21年６月１日　至　平成22年２月28日）において海外売上高はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成21年６月１日　至　平成22年２月28日）

該当事項はありません。